

氏名： 赤松 利恵 (AKAMATU Rie)
所属： 人間文化創成科学研究科自然・応用科学系
学位： 博士 (社会健康医学) / Doctor of Public Health
職名： 准教授
専門分野： 健康教育 (栄養教育)、公衆衛生学、健康心理学
URL： <http://www.food.ocha.ac.jp/publichealth/Nutrition%20Education/NEindex.html>
E-mail： akamatsu.rie@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

健康教育／栄養教育／行動変容／健康心理学／公衆衛生学
health education / nutrition education / behavior change / health psychology / public health

◆主要業績

総数 (10) 件

- ・ 赤松利恵、武見ゆかり, トランスセオレティカルモデルの栄養教育への適用, 日本健康教育学会誌 (2007) 15(1),3-17.
- ・ Akamatsu R, The Japanese Interpretation of "Eating a Balanced Diet" through Contents Analysis, Psychological report (2007) 100,727-730.
- ・ 赤松 利恵, 中学生の間食選択に関する食態度の検討—「間食選択動機」調査票の作成—日本公衆衛生雑誌 (2007) 54 (2) ,89-97.
- ・ 井土ひろみ、赤松利恵, 中学生におけるお菓子の過食行動に関する心理社会的要因の検討, 日本健康教育学会誌 (2007) 15(2),89-99.
- ・ 三谷規子、赤松利恵, 小学生の給食時間における質的研究：刺激と反応学習説からの考察, ウエルネスジャーナル (2007) 3(1),34-36.

◆研究内容 / Research Pursuits

より良い食習慣の獲得を目指し、個人の食行動および社会環境の整備の以下のような研究を現在行っている。

1. 食行動の変容に関する研究
(例：減量に関するセルフ・エフィカシーの研究)
2. 栄養教育の効果の検討
(例：農業体験活動の教育的効果の検討)
3. マス・メディアにおける健康・栄養情報の検討
(例：新聞における健康食品の広告の検討)
4. 食品の安全教育に関する研究
(例：食に関するリスクコミュニケーションの研究)
5. 子どもの食行動の変容について保護者を対象とした研究
(例：子どもに対する母親の食態度の検討、子どもの食欲と間食に関する検討)

The knowledge and skills through "Nutrition Education" is essential for those who are interested in promoting good health. Our role as the dietitians is to support people find their most preferable healthy diet and how they achieve them. This laboratory conducts survey in schools, medical clinics, communities, and even the mass media.

◆教育内容 / Educational Pursuits

2007年度学部授業：

栄養教育論Ⅰ、栄養教育論Ⅱ、栄養カウンセリング論、栄養カウンセリング論実習（専門科目）、食物学概論（共通科目）、食物科学輪講（専門科目）
2007年度大学院授業：栄養教育学特論

Classes in Undergraduate school,2007:

Nutrition education 1, Nutrition education 2, Nutrition counseling, Practice in counseling for health education, Seminar for food and nutrition science (special subjects), Introduction to Food Science

Classes in Graduate school,2007:

Seminar Nutrition Education

◆研究計画

行動科学を用いたより科学的な栄養教育の方法論の提案を目指し研究を進めている。子どもの食育が注目されているが、子どもに限らず、生活習慣病予防のための栄養教育に貢献できる研究も今後取り組んでいきたい。また、人の食行動に大きく影響する食環境整備の観点から、特にメディアの食情報を検討し、新しい教育方法を今後提案したいと考えている。

◆メッセージ

経験や勘で行われてきた栄養教育から、科学的視点で取り組む栄養教育に変えることを目指し研究を進めています。そのためには、栄養教育の基礎的な研究が必要だと考えています。人を対象とする研究は、限界も多いのですが、日本ではまだたくさんの栄養教育の研究課題が残されており、やりがいのある分野です。このような栄養教育学分野に興味もたれた方と一緒に、お茶大から新しい栄養教育を発信していきたいと思っています。